

万引対策10のポイント

日本万引防止システム協会

日本万引防止システム協会(JEAS、山村秀彦会長)は7日、東京ビッグサイトで開かれたセキュリティショーにおいて、「万引対策がすすむ10のポイント」と題するセミナーを開催、定員1000人のところ1300人を超

す参加者であふれた。

講師には(株)セブン&アイホールディングス

総務部グループ渉外シ

ニアオフィサー・成田

庄二氏と同総務部グル

ープ渉外・伊藤建史氏

を招き、日本万引防止

システム協会の三宅正

光副会長がコーディネ

ーターを務めた。

冒頭、三宅氏は「万

引に対する具体的解決

策を模索する小売業者

にとって、このセミナ

ーが改善の糸口となる

ことを期待する」と述

べた。

成田氏はイトヨー

カ堂の事例を挙げ、店

側の対応として「来店

者に関心を持ち、声か

けをすることを基本と

し、従業員、警備員、



成田庄二氏(左)と伊藤建史氏

盗難防止器具を連携さ

せることが有効」と述

べた。そして、近年犯

罪意識の希薄化が進ん

だことにより、万引き

が大衆化してきている

ことへの警鐘を鳴らし

た。

伊藤氏は機械警備シ

ステムの責任者として

「防犯カメラシステム

は盗難への抑止効果と

犯罪が起った後の検

防犯だけでなく、営業

サポートシステムとし

てレジの混雑状況の把

握などにも活用してい

る」と述べた。

最後に成田氏が「万

引対策がすすむ10のポ

イント」を次のように

まとめた。

①お客様主体の売場作

り

②整理整頓された作業

環境

③お客様に関心を持つ

ことが最大の防犯(万

引)対策

④自分の財産と同じ考

えで売場商品を扱う

⑤組織での役割分担と

目標設定

⑥重点売場・時間帯の

明確化と情報共有

⑦人とカメラの連動に

より、防犯の相乗効果

⑧データに基づいたマ

ネジメントのフォロー

体制

⑨誰でも判る防犯マニ

ユアルのビジュアル化

⑩主体性のある人と機

械の活用